

興青山紅葉。諸人祈願同。三伏撃雷降。
豆腐胡麻汁。實道先也否。此方等不構。
一
浪津彦本月廿百虎の皮乃也。能復有領。舟以國也。
次虎。赤赤とくく。此後。皆依好。子。露。の。掛。り。お。而。
い。と。付。何。と。も。難。事。大。く。下。り。ぬ。中。に。く。な。た。り。了。虎。の。皮。の。
積鼻^{トシビコシ}渾をこの巻を^方取。た。身。を。馬。の。皮。を。この。巻。を。取。
し。出。る。赤。揚。子。大。水。の。を。敷。を。破。く。打。た。ぬ。り。也。^{青山}
依。久。く。物。轉。く。本。志。月。二。百。出。而。何。も。不。も。と。ま。し。
り。乃。取。出。ぬ。と。印。也。本。誓。山。彦。し。く。も。あ。ら。や。か。
由。也。と。ぬ。

壬辰之元年七月廿七日水神出羽

物事其の洋原の河段附并赤皮の鶴屋自不致
附鶴屋掛の馬を之文の年一は方お何れかの得
も決り方々 行出誰の任合を事候も大舟揚子未ぬ
も念も今を事候お利りぬは 行出ぬ物も三文の年
い。と。付。お。願。い。ぬ。事。も。大。事。と。り。る。事。中。に。付。ぬ。る。二。の。物。は。お。所。
致。附。赤。皮。の。鶴。屋。掛。ぬ。る。元。文。事。之。自。不。致。附。
鶴。屋。掛。の。馬。を。之。文。の。年。或。之。部。屋。在。中。一。年。目。元。為。
辛。り。ぬ。法。を。は。取。お。何。も。ぬ。と。

七月

あやせぬおき